

帯広市広報マスコットキャラクター

しろかんぱ の もくいく通信

©帯広市2021



帯広市では子どもたちに幼少期から木や森に親んでもらい、豊かな心をはぐくむことを目的とした木育（もくいく）推進事業※¹に取り組んでいます。
この度ひなたぼっこ保育園に、身近な木で製作した木製品※²を設置しましたので紹介します。

▲砂場用の日よけ棚（ベンチ付き）



砂場に合わせて棚を設置しました。2面にベンチがついているので、座ったり、物を置いたりすることができます。十勝でもよく見られる「カラマツ」の木でできています。



◀秋のカラマツ林



▲葉のかたち



設置工事の様子

表面を保護するために顔料入りの塗装を施していますが、木目も見えるようにし、木の風合いを感じられるようになっています。

地域の木材を使って、市内の職人さんが作ってくれたよ！



使用した樹種などを紹介するプレートがついています

9月3日に2歳児に参加してもらい贈呈式と木育活動を行いました。
新しい木製品に触れてもらった後、木育マイスター※³の方と一緒に大心公園にお散歩に行きました。
公園への道中も、みんなは気になる草花やクモの巣があると足を止め、観察したり触ってみたいしていました。公園ではさまざまな形の葉っぱや木の実を集めて、のびのびと楽しみました。



※¹ 帯広市の木育推進事業は森林環境譲与税を活用して実施しています。
※² 木製品は順次市内の他の保育園等にも設置を進めていきます。
※³ 「木育マイスター」は、北海道に認定された木育の専門家です。

